

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	駒津 幸男
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4171 市単治山事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012300 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	030000 市単治山事業										
事業目的						事業概要・効果						
災害等による保安林以外の森林の被害を最少限にくい止める						保安林以外の私有林等の被災箇所を早期に保全することにより、森林の公益的機能を発揮できる。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	本郷地区土砂流出防止柵設置工事（丸太柵1基）
平成26年度 予定	平成27年度 予定
法面柵設置工事（予定）	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		142	4,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		142	4,000
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		142.0	4,000.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	142	本郷地区土砂流出防止柵設置工事（丸太柵1基）
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	4,000	法面柵設置工事（予定）
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	森林がもつ公益的機能を維持するため自然災害を未然に防ぐため流失防止柵を設置することで災害時の安心安全が図れた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	同上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コスト削減のため現場の土砂を搬出でなく、付近に撒きだすよう地権者にお願いした。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

なるべく国の予算や県の予算により危険箇所の改善に努めたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
それぞれの現場によって違うがコストの削減に努めた い		大切な森林資源を守るため、助成金の活用により効果が最大限発揮できるよう、引き続き計画的な対策に取り組む。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	